

2020（令和2）年4月30日

内閣総理大臣	安倍 晋三	様
経済再生担当大臣	西村 康稔	様
厚生労働大臣	加藤 勝信	様
厚生労働副大臣	橋本 岳	様
厚生労働副大臣	稲津 久	様
厚生労働大臣政務官	小島 敏文	様
厚生労働大臣政務官	自見 英子	様
厚生労働事務次官	鈴木 俊彦	様
厚生労働審議官	土屋 喜久	様
医務技監	鈴木 康裕	様
大臣官房長	土生 栄二	様
総括審議官	田中 誠二	様
厚生労働省保険局医療課長	森光 敬子	様

京都府保険医協会
理事長 鈴木 卓

医療崩壊、地域包括ケアシステム破綻を招かないための緊急要請

謹 啓

貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日本の社会保障制度の拡充のために、またこの度の新型コロナウイルス感染症拡大の1日も早い終息に向けて、日夜ご奮闘いただいていることに敬意を表します。

本会は京都府内で保険診療に従事する医師（保険医）2,300人で組織する団体です。社会保障の向上と国民医療の充実・発展を目指すことを目的に設立し、微力ながらさまざまな事業を展開しています。

さて医療界では、全力を挙げて新型コロナウイルス感染症拡大阻止に向けて取り組みを行っているところでありますが、本会では、同感染症拡大に伴い、通常の受診が抑制され、医業収益の悪化が生じているのではないかとの観点から、実態を把握、検証すべく京都府内の病院を対象に緊急のアンケート調査を実施致しました。

その結果から、3月の時点で外来を中心にすでに受診抑制が発生しており、医業経営にも影響が出始めていることが明らかとなりました。本来であればきちんとした受診が必要であるにもかかわらず受診できない（しない又は診療できない）患者の増加と、それによる医業収入の落ち込みが、地域での医療機能の維持を困難にさせ、さらに医療資材の不足や医療従事者の確保困難、入院から在宅への患者の流れの停滞（退院先となる施設の新規受け入れ停止等）により、医療崩壊や地域包括ケアシステムの破綻を招く可能性が示唆されました。

つきましては、アンケート調査結果もご参照いただき、右記の内容を実現するため、ご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

謹 言

記

1. 初診及び2度目以降の診療を電話又はビデオ通話で行う場合、特例で算定できると示されている各種診療報酬点数について、平時において対面で診療を行う場合と同等以上の評価とすること

1. 新型コロナウイルス感染症患者以外を対面で診療する場合にあっても、院内感染防止に徹底的な対策が求められ、そのコストも膨らんでいることから、通常の基本診療料（初・再診料、入院料等）に上乘せを行い、補てんすること

1. 新型コロナウイルス感染症患者を直接受け入れていない場合であっても、地域包括ケアシステムの破綻を招かないよう、入院基本料等の各種施設基準を満たせない場合に、臨時的に満たしているものとみなすこと

1. マスク、ガウン、フェイスシールド、プラチックグローブ、アルコール消毒液など各種医療資材、医療機器については、国が責任を持って確保し、医療機関に優先的に供給すること

1. 新型コロナウイルス感染症患者の診療を行う場合はもちろん、それ以外の診療であっても、医療従事者のストレスが増大し、疲弊し、業務量が増大し、人員も不足していることから、診療報酬とは別に医療従事者向けの補助金交付を実現すること

1. 新型コロナウイルス対策に係る医療機関向けの情報は、速やかにかつ分かりやすく提供すること

以上